

第418回
株式会社テレビ新潟放送網
放送番組審議会

1 開催日時 2025年5月19日(月)

2 開催場所 テレビ新潟本社

3 委員総数 8人 出席委員 8人

出席委員

小原 清文 委員長 石井 宏明 委員

中島 達雄 委員 大久保 千春 委員

本宮 宏美 委員 小山 厚子 委員

杉原 名穂子 委員

※書面による出席 迫 一成 委員

会社側出席者

代表取締役社長 正力 源一郎

取締役コンテンツ本部長 河野 修三

コンテンツ戦略局長兼番組審議会事務局長 小林 健

報道制作局長 中川 幹子

報道制作局次長 須山 司

番組プロデューサー/報道制作部長 倉島 実

事務局 鈴木 英門 坂上 寿史

4 議 題

1) 番組合評

2) 「夕方ワイド新潟一番 ～新潟一番県内ニュース～」

2025年4月9日（水） 18：15-19：00

3) 会社報告

- ① T e N Y 番組種別報告 (報告：番組審議会事務局)
- ② 4月の視聴者の意見 (報告：番組審議会事務局)
- ③ 講じた措置、議事概要の公表 (報告：番組審議会事務局)
- ④ 訂正放送、取り消し放送の有無 (報告：番組審議会事務局)

4) その他

5 審議の概要

会社側からは「新潟一番県内ニュースは、今年1月にスタジオ・ロゴ・BGM等を刷新し、現在4人のキャスターで放送しています。緑とオレンジを基調にしたスタジオは、落ち着いた雰囲気の中にも元気が出るようなイメージで作りました。“あすの新潟のためにできること”というコンセプトを掲げ、取材・原稿作成・編集に取り組んでいます」という趣旨の説明があった。

(委員の意見)

- 地域に根ざした様々な分野の情報を、バランスよく細やかに提供しており、県民の知る権利に対してしっかりと応えている内容だった。
- 柏崎刈羽原発の再稼働に関するニュースは、難しくなりがちな内容を、図を用いてわかりやすく伝えていた。
- スクールランチのニュースは興味深かったが、なぜこれまで新潟市と粟島浦村のみ完全給食でなかったかが気になった。
- 夕方のニュースを通して視聴すると、日々起きる様々なニュースや情報を取捨選択し、解説を交え丁寧に届けていることを改めて感じた。
- 人口流出の特集は、新潟が抱える課題について考える機会になり、新潟市の「若者に魅力のある雇用の創出」についても理解しやすかった。
- 特集は人口流出の課題に迫るのか、東京を目指す若者を応援するドキュメントなのか、焦点が少しぶれている気がした。
- 自分の中に無い世界観が入ってくるのがテレビ（ニュース）だと改めて感じた。自らは取りに行かない情報が次々と伝えられてきた。
- “きょうの新潟のニュース“ふりかえりは、まとめとしてはよいが、気になった項目をもう一度見る方法があれば示して欲しい。
- 新潟県は広く、エリアによって天気が大きく変わってくるため、天気予報をどの程度、エリアごとに詳細に伝えるのか難しく感じる。
- 内田・斎藤両キャスターの取材対象に寄り添ったコメントが好印象。そういった一言に、局のスタンスや取材姿勢が表れると気付かされた。

6 会社側の報告

1) 放送番組に関して申し出のあった意見の概要

4月……220件

2) 訂正放送、取り消し放送の実施状況

前回審議会の開催日(2025年4月21日)から、
昨日(2025年5月18日)まで総務省に届け出た
訂正放送、取り消し放送はありませんでした。

7 審議機関の答申または意見(前回審議会)に対してとった措置

1) 前回第417回審議会では、

「新潟炊きたてバラエティー おにぎりハウス」を審議いただき、委員の意見は議事概要にて記者、制作スタッフ、社内に周知しました。

2) 番組審議会議事録を全社員、スタッフに共有しました。

8 今回の第417回放送番組審議会の公表

1) テレビ新潟本社、長岡支社、上越支局の県内事業所に議事概要の書面を準備します。

2) 当社のニュースで審議会の概要を放送します。

3) T e N Yホームページに議事概要を掲載します。

9 参考事項(委員への配布資料)

- ・第417回番組審議会議事録
- ・4月の視聴者からの意見、問合せ等の集計表
- ・BPO報告(NO. 275/276)
- ・T e N Y番組種別報告

以上